

<b>授業科目名</b>	社会的養護(2100613)		
<b>時間割名</b>	社会的養護(70113)		
<b>時間割担当</b>	末松保喜		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

日本の社会的養護の歴史の変遷を踏まえ、現代の社会的養護の意義について学ぶ。児童の権利擁護の視点から社会的養護について考えるための知識を身につけ、現状と課題について考える力を養う。

### 学習の到達目標

1. 社会的養護の理念を理解し、制度や施策等を知る。
2. 社会的養護の施設の現状について学び、様々な背景や課題について学ぶ。
3. 施設で生活する子ども達の現状を知り、職員が実際行っているスキルを体感することによって福祉や教育に関わる職員としての基本的対応力について学ぶ。

### 授業方法・形式

講義：テキスト、資料に基づく基礎的な話。

視聴：映像やスライド、パワーポイント等具体的な理解。

演習：個人もしくはグループによるワークショップ、ディスカッション。

### 授業計画

- 第1回 社会的養護の基本視点～理念、基本的姿勢や関わる大人としての視点を学ぶ。
  - 第2回 社会的養護のあゆみ1（家庭・家族の喪失と養護）～映像やスライドでわかりやすく学ぶ。
  - 第3回 社会的養護のあゆみ2（子どもの貧困問題と社会的養護の今）～社会的養護の施設の現状について知る。
  - 第4回 子どもの権利と養育1（子どもの権利条約）～児童憲章や権利条約、倫理綱領について学ぶ。
  - 第5回 子どもの権利と養育2（社会的養護の国際的動向）～いろいろなビジョンの変遷と現状について学ぶ。
  - 第6回 社会的養護の理念が現場でどう繋がって実践されているのかを知る～LSWについての考え方を学ぶ。
  - 第7回 社会的養護の基本原則について、具体的事例から学ぶ。
  - 第8回 社会的養護の法制度と実施体系～措置の考え方や実際について知る。
  - 第9回 社会的養護を必要とする子どもと施設養護～現場学習 ～施設を実際訪問し、子ども達の生活の現状を知る。
  - 第10回 社会的養護の展開～現場学習
  - 第11回 社外的養護の課題～現B学習
  - 第12回 保護を要する子どもの養育の実際～現場学習 （注：～は現地集合で愛染寮といこま乳児院を見学）
  - 第13回 障害のある子どもへの福祉サービスと施設養護～児童発達支援の施設の様子を視聴し、現状を知る。
  - 第14回 障害のある子どもの養育の実際～支援プログラムについて学ぶ。
  - 第15回 社会・専門機関の支援ネットワークの実際～事例から学ぶ、地域や各種機関との連携。
- まとめ～レポート作成、提出。

### 成績評価の基準

最終日にレポートを提出して頂き、A～Dで評価します。

### 準備学習・復習及び授

テキストを読んでおく。

### 履修上のアドバイス及

資料はその都度配布。私語のみ慎んでください。

### 教材・教科書

指定教科書ならびにその他必要に応じてこちらで用意する資料、レジュメ。

### 参考書

特になし